

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
農集排	02	01	01	0401	農業集落排水事業
総合計画	分野	暮らし			
	政策	2-2	生活基盤の充実		
	施策	6	汚水の適切な処理		
目的	農業集落排水施設の維持及び強化				
対象	事業計画区域内の住民				
意図	常に、下水道を利用できるようにする				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
・調査計画	施設の更新又は改築の要否について、詳細調査と工法の検討をおこなう。				
・実施設計等	汚水処理施設及び管路施設の実実施設計作成等				
・機能強化等工事	汚水処理施設及び管路施設の更新・改築等工事				
市民参画の有無	〔 対象外 〕				
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	
	後援・協賛	補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
① 調査計画実施地区	地区	計画	3	1	
		実績	3	1	
② 機能強化工事	地区	計画		3	
		実績		3	
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
① 施設稼働率	%	目標	100	100	
		実績	100	100	
② 水洗化率 (水洗化人口/処理区域内人口)	%	目標			
		実績	81.4	82.6	
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
【H26成果指標の設定根拠】 適切な維持管理及び機能強化をすることにより達成できる目標値。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 ・条例により定められている。 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
有効性	成果の向上余地 ・現在の施設稼働率は100%であり向上余地はない。 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 ・コスト削減等に取り組む。 ・業務の中で外部委託できるものは実施しており、これ以上の人件費削減はできない。 <input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 ・利益を受ける範囲が明確である。 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括	
・老朽化に伴い施設全般で補修修繕等の必要な箇所が散見されている。 ・成果指標を維持するため、施設の長寿命化を図る必要がある。	

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
農集排	02	01	01	0401	農業集落排水事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			(2,400) 145,838		145,838
財 源 内 訳	国・県		64,584		64,584
	地方債		61,300		61,300
	その他		19,954		19,954
	一般財源				

事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--------------------------------	--	-----------------

部経営方針における目標

汚水の適切な処理

事業開始の背景・経緯

農業集落排水は、農村地域の生活環境の改善と公共用水域の水質保全を目的に事業開始し平成22年度に全地区の施設整備が完了した。現在は、早期に供用開始した施設を中心に経年変化による老朽化が進んでいることから、施設全体で計画的かつ効率的な老朽化対策に取り組んでいる。

事業概要

- ・調査計画
施設の更新又は改築の要否について、詳細調査と工法の検討をおこなう。
- ・実施設計等
汚水処理施設及び管路施設の実施設計作成等
- ・機能強化等工事
汚水処理施設及び管路施設の更新・改築等工事

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・必要に応じて施設を専門的に調査し、工法の検討を行う。
- ・事業計画を策定し、機能強化対策の事業申請を行う。
- ・実施設計を作成し、早期の工事発注に努める。
- ・機能強化工事を実施し、施設の長寿命化を図る。

担当部署 部名 建設部 課名 下水道課 担当係長 川村真哉 内線 554

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

①調査計画 3,132千円

- 調査計画（計画策定のための詳細調査及び工法の検討） 1,146千円
- 事業計画（事業採択申請のための計画書作成） 1,986千円

②実施設計等 5,000千円

- 実施設計積算施工管理（長根地区、熊野地区、湯本南方他地区） 5,000千円

③機能強化等工事 136,106千円

- 機能強化工事（長根地区、熊野地区、湯本南方他地区） 125,788千円
- 公共樹取付工事（花巻10件（内熊野3件）、大迫1件、石鳥谷2件、東和1件） 10,318千円